

まちの話題



Focus in 南島原

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。



4 有家小学校が開校

4月6日、新しい有家小学校の開校式を、児童や教職員など関係者参加のもと、執り行いました。

真新しい校旗が松本市長から山下晋吾校長へと授与され、山下校長は児童に「早く友達をつくって、笑顔ある元気な学校にしていましょ」と話しました。

児童を代表して松島花純さん(6年)が「これから続いていく有家小学校の歴史の礎を築いていくのは私たち。みんなが仲良く、笑顔で過ごせるよう、力を合わせてがんばっていきましょう」と誓いの言葉を述べ、有家町出身の根井浄さんが作詞した新しい校歌をみんなで斉唱しました。

この校歌は、子どもたちが未来に向かって健やかに成長する願いを込めて作られています。

4月8日、新1年生53人が入学し、全校児童291人で新たな歴史を刻み始めました。



6 市消防団深江地区 分団引継式

南島原市消防団が誕生して15年が経過。深江地区消防団の第2分団と第3分団が統合しました。

深江地区の分団数は8箇分団から7箇分団となり、第8分団の名称を第3分団に改めました。

新第2分団の下田猛分団長は「これまで先輩方が維持してきた分団を自分たちの時代でなくすのはつらい。統合して管轄が広がるが、住民の皆さんにとって変わりはない。今回の統合を機にいつその地域防災体制の強化を図っていきたい」と話しました。

旧第8分団は、30年前の噴火災害時に甚大な被害を受けながらも地域住民のために活動を継続。当時、第8分団に所属していた市消防団の大山秀孝団長(3月28日現在)は「8分団の名称がなくなるのはさびしいが、新しい体制で普賢岳噴火災害の経験を継承してほしい」と話しました。



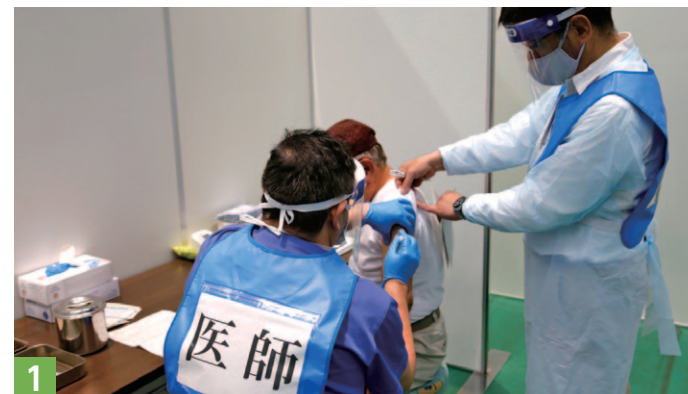
5 県内最大規模の土地改良区が新たに誕生

4月12日、南島原市土地改良区連絡協議会(永田 光臣 会長)のうち、関係16土地改良区による合併予備契約書調印式が執り行われました。

土地改良施設の効率的な維持管理や事務運営、事業実施体制の強化を目指して合併するもので、合併後は地区面積932ヘクタール、組合員数2,163人と、県内で一番大きな土地改良区になります。

各改良区理事長による合併予備契約書への署名、調印が行われ、永田会長は「合併に向けて大きな一歩を踏み出すことができた。次世代に農地基盤を引き継ぐためにも行政機関と連携をとり、しっかりと準備を進めていきたい」とあいさつしました。

新組織は来年2月1日の発足に向けて準備を進めます。



1 新型コロナウイルスワクチン接種 模擬訓練を実施

3月27日、新型コロナウイルスワクチンの接種を安全かつ確実に、希望する市民の皆さんに接種できるよう、南高医師会や南島原消防署協力のもと、集団接種の模擬訓練を実施しました。

接種対象者役として老人クラブ会員33人が参加し、検温などの健康チェックや予診票の内容確認、医師による問診後に注射のデモンストレーションなど、本番を想定した人の動きや全体的な流れを確認しました。

訓練終了後、南高医師会の馬場会長らは、予診票の内容確認の時間短縮、上腕が出しやすい軽装(半袖に上着を羽織るなど)の協力依頼、救護所のスペース確保などの課題を挙げ「今回の反省点を踏まえ、本番に向けて万全の態勢をとりたい」と話しました。

(関連情報 P12)



3 満島ひかりさん着用の衣装を展示中

現在、絶賛公開中の南島原市観光ブランディングムービー「突撃! 南島原情報局(神回)」の撮影で、満島ひかりさんが天草四郎役で着用した衣装を展示しています。

🕒午前9時～午後6時(木曜日休館)

📍有馬キリシタン遺産記念館

🎫大人300円/高校生200円/小・中学生150円

※団体割引などあり



2 南有馬町船員会がボランティア清掃

3月22日、南有馬町船員会の会員19人が、西望公園内の草刈りなどの清掃を行いました。同会は昨年12月にも西望公園の草刈清掃を実施したほか、1月と2月には原城跡や周辺道路の清掃も実施しました。

参加者は草刈機などでいねいに草を刈り、公園がとてもきれいな姿になりました。